

frill-ribbonT 作り方



■三角の切り替えがポイントになったフレア裾のカットソーで、パフ袖・フリル袖・長袖・半袖・タンクトップ・フリル付き長袖・フリル付き半袖と様々な種類の袖でお作りいただけます。

■すべて縫い代込みとなっておりますので、切り取ってそのままお使いいただけます。一部重ね書きとなっておりますので別の紙に写すか折ってお使いください。

■「わ」の表記と指定の数字以外は縫い代1cmです。

■なるべくロックミシンの併用を推奨しますが、家庭用ミシンのみでも作製できます。

■説明文にある「端を処理します」とはロックミシンorジグザグミシンで端をかがることです。

■リボンの寸法図は最後のページに記載しています。作り方は3ページ目に記載しています。



★出来上がり寸法(cm)

	70	80	90	100	110	120	130	140	150
身巾	24	25.5	27	29	31.5	32.5	33.5	35.5	38.5
着丈 (リブ分含)	31.5	35	38	40.5	43.5	46.5	49.5	52	55.5
袖丈 (長袖 半袖)	22 4.5	25.5 4.8	29.5 5.5	32.5 6.2	36 7	41 7.5	45.5 8	49 8.5	52.5 9

※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

★必要用尺(cm)※160cm幅

	70	80	90	100	110	120	130	140	150
パフ袖 半袖	40	50	50	50	60	60	70	80	90
フリル袖 タンクトップ	40	50	50	50	60	60	60	65	70
長袖	40	50	50	75	80	90	100	115	120

※切替布・フリル・リボンを別布でとった場合の用尺です

※この他に付属生地、切替布・フリル生地・リボン生地が少量必要です。

※生地の上方向・柄合わせがある場合はこれより多めに用意してください。

用意するもの

□ニット生地...薄手～中厚手のニット生地

※切替布、フリル、リボンには布帛がお使いいただけます。

□付属生地...スパンテレコ、スパンフライスなど

準備

★全てのパーツに合印を入れておく。

★必要があればリボンに接着芯を貼っておく。

【パフ袖ver.】 縫い方手順

※①～⑦までの工程は全袖共通です。

★必要パーツ



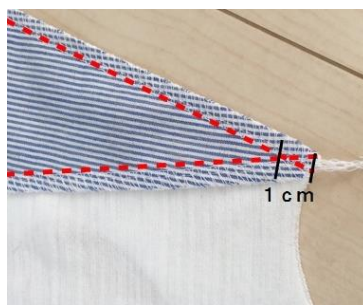
①衿・袖リブをそれぞれ中表に折り、端を縫い合わせます。縫い代を割り、表が出るよう半分に折っておきます。



②右前身頃と切替布を中表に合わせて縫い合わせ、端を処理します。



③縫い合わせた切替布と左前身頃を中表に縫い合わせ、端を処理します。



④その際、三角の頂点の部分は1cm程重なりますが、衿リブの縫い代分になりますのでそれでOKです。



⑤次に、後身頃と前身頃を中表に合わせて、肩を縫います。端を処理します。



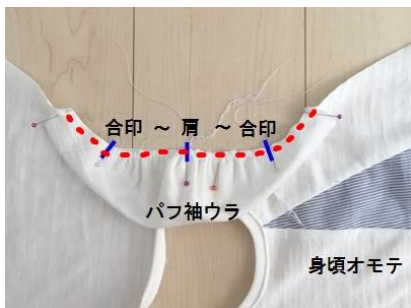
⑥身頃と衿リブを中表に合わせて、ぐるっと一周縫い合わせます。端を処理します。



⑦表に返し、お好みでステッチをかけます。



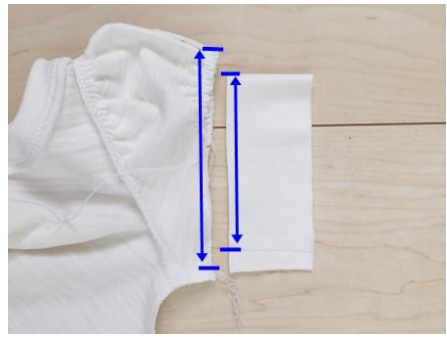
⑧袖の合印～合印まで、ギャザー止まり～ギャザー止まりまで、ギャザーを寄せるための粗ミシンをかけておきます。



⑨身頃と袖を中表に合わせ、肩・袖端・合印をそれぞれ合わせます。身頃側の寸法に合わせてギャザーを寄せます。袖端～袖端まで縫い合わせ、端を処理します。



⑩前後身頃を中表に合わせ、袖端から裾まで縫い合わせます。端を処理します。



⑪袖リブの寸法より袖側が1~2cm程大きくなるようにギャザーを寄せます。



⑫袖リブを中表になるように袖の中に入れて縫い合わせ、端を処理します。

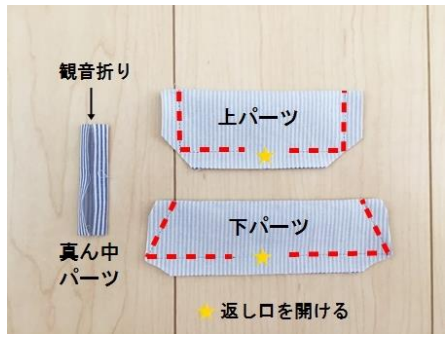


⑬裾に端ミシンをかけ(差動を使って縮めながら縫うと楽です)、内側に1.5cm折り返しアイロンで押さえます。



⑭裾を一周ステッチで押さえて完成です。

★リボンの作り方



上パーツと下パーツは中表になるよう縦半分に折り、返し口を残して画像のように縫い合わせます。角を切り落とし、縫い代も半分に切り落としておきます。真ん中のパーツは観音折りにしてアイロンで押さえます。



表に返して返し口を閉じ、アイロンで押さえます。M字型になるように折り、上下パーツを合わせ、その上から真ん中パーツでくるんで後ろで縫い留めます。



形を整えて出来上がりです。

【フリル袖・タンクトップver.】 縫い方手順

※フリル袖...パフ袖ver①~⑦

+このページの1~7+パフ袖ver⑬⑭

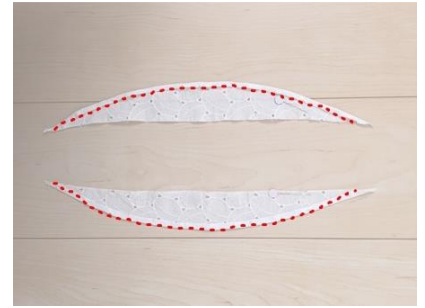
※タンクトップ...パフ袖ver①~⑦

+このページの3~7+パフ袖ver⑬⑭

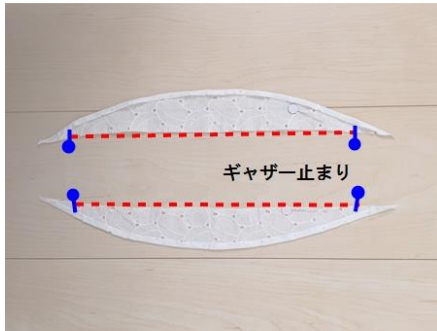
★必要パーツ(切替なし)



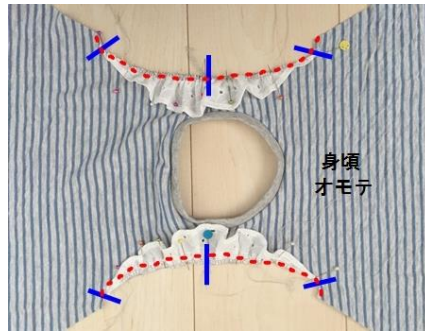
※(パフ袖ver①~⑦を参照)
切替なしの場合はパフ袖②~④の工程を省略し、そのまま前後身頃の肩を縫い合わせます。



1. いずれかの方法でフリル端を処理します。
★巻ロックの場合...出来上がり線で 裁断後、端を巻ロックします。
★端ミシン+一つ折りの場合...ジグザグミシン or ロックミシンで端を処理したあと、1cm折り返してステッチ。
★二つ折りの場合...5mm+5mmで折り返してステッチ。



2. ギャザーを寄せるために、ギャザー止まり~ギャザー止まりまで粗ミシンをかけておきます。



3. フリルを身頃と中表に合わせ、肩線と、身頃のフリル止まりにフリルの端をそれぞれ合わせてギャザーを寄せます。脇下~脇下まで縫い合わせ、端を処理します。
※タンクトップverの場合は1、2の工程を省略。フリルなしで脇下~脇下まで端ミシンをかけます。



4. 3で縫った箇所を身頃裏側に1cm折り返しアイロンで押さえます。脇下~肩~脇下までステッチをかけます。



5. 身頃を中表に合わせ、脇下~裾までを縫い合わせます。端を処理します。



6. 脇下の縫い代を倒して縫い留めておくと、ゴロゴロしないで良いかと思います。



7. パフ袖ver⑬⑭を参照に裾を処理して完成です。
切替なしの場合は胸ポケットや後ろの首元にちょうちょ結びのリボンを付けても可愛いです。

【長袖・半袖ver.共通】 縫い方手順

※長袖・半袖...パフ袖ver①~⑦
+このページのA~D+パフ袖ver⑬⑭
※フリル付き長袖・半袖...パフ袖ver①~⑦+フリル袖ver1~3
+このページのA~D+パフ袖ver⑬⑭

★必要パーツ(切替なしの場合)



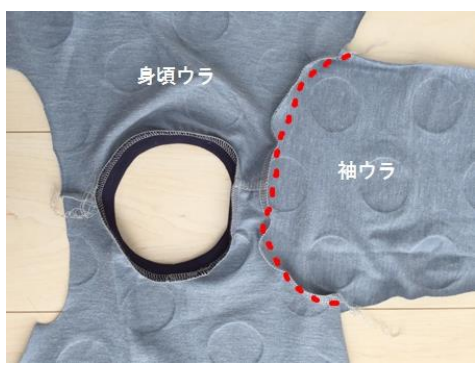
※半袖・長袖のみの場合...

(パフ袖ver①~⑦を参照)

※フリル付き半袖・長袖の場合...

(パフ袖ver①~⑦+フリル袖1~3参照)

A. 袖先に端ミシンをかけ、裏側に1.5cm折り返してステッチで押さえます。



B. 身頃と袖を中表に重ね、肩線に袖の肩合印を合わせます。脇下~肩~脇下を縫い合わせ、端を処理します。

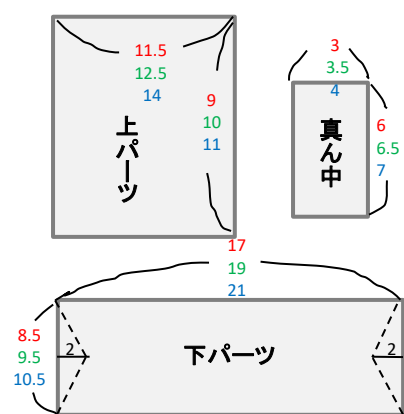
C. 袖下~裾まで縫い合わせ、端を処理します。

D. パフ袖ver⑬⑭を参照に裾を処理し、表に返して完成です。

※フリル付き半袖・長袖の場合は、フリル袖ver3の状態に袖を重ねて同じく縫い合わせます。(ズレが気になる時は袖を重ねる前にフリルを仮止めしてください)

★リボン①寸法(縫い代含)

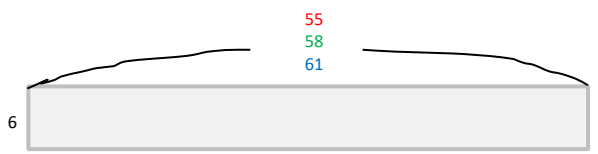
[70.80.90、100.110.120、130.140.150、黒は共通]



※作り方は3ページを参照

★リボン②寸法(縫い代含)

[70.80.90、100.110.120、130.140.150、黒は共通]



※バイアステープと同じ折り方で、長い方の辺を真ん中に向かって両側から折り、さらに半分に折ります。両端は1cm内側に折り込んでアイロンで押さえ、縫い合わせます。リボン結びに結んで出来上がりです。